

世界原子力発電事業者協会(WANO)の隔年総会について

2026 年 9 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

東京都内において、9 月 28 日から 30 日にかけて、「世界原子力発電事業者協会(The World Association of Nuclear Operators)」※¹ (以下「WANO」)の隔年総会が開催されました。

隔年総会では、ガーゴ議長、千種 CEO を筆頭として、総裁である弊社社長の小早川も WANO の運営をサポートいたしました。

また、当社は福島第一原子力発電所事故から得られた教訓や安全対策に関する知見を共有し、世界各国の原子力リーダーと意見交換を行いました。

※小早川のあいさつは別紙参照

当社は引き続き、福島第一原子力発電所事故から得られた教訓を踏まえ、原子力発電所の更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

以 上

別紙：WANO 隔年総会 小早川総裁あいさつ

- ※1 世界原子力発電事業者協会(The World Association of Nuclear Operators) :
チョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所事故を契機として、1989年に世界の原子力事業者によって設立された民間組織。商業用原子力発電所の安全性と信頼性を最高レベルに高めることをミッションとしている。
- ※2 「Action for Excellence」:
2019年のWANO世界理事会で立ち上がった「2030年までに全ての原子力発電所(運転プラント)が、WANOの評価基準で高評価となることを目指す」というイニシアチブ。